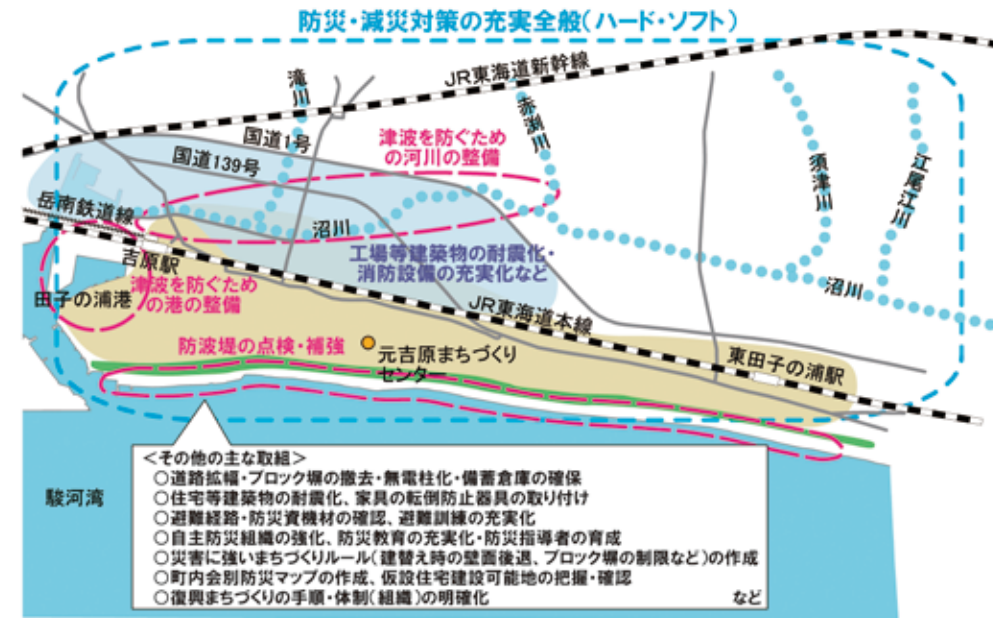


元吉原地区のまちづくりの方向性と具体的な取組

1 安全・安心の確保

地震や津波、大雨などへの備えを充実し
“自然災害に強い安全・安心なまち”をつくる



(1) 防災・減災まちづくり

津波を防ぐための施設整備や住宅等建築物の耐震化、また避難訓練の充実化や自主防災組織の強化など、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策を進めます。

① 防災・減災対策の充実(ハード)

田子の浦港や沼川などの河川の整備を進めるとともに、備蓄倉庫の確保、また住宅等建築物の耐震化・家具の固定などを促進します。



② 防災・減災対策の充実(ソフト)

避難経路・防災資機材・地区の災害リスクについて確認するとともに、自主防災組織の強化や災害時の情報伝達手段の拡充を図ります。

(2) 事前復興まちづくり

生活や住宅再建などに向けたルールづくりを進めるとともに、復興まちづくりの体制づくりや各家庭でできる対策を進めます。

① 復興(生活・住宅再建)に向けた事前取組の推進

応急仮設住宅の建設可能地を地区独自に調査するとともに、災害に強い住宅地を形成するためのルールづくりを進めます。

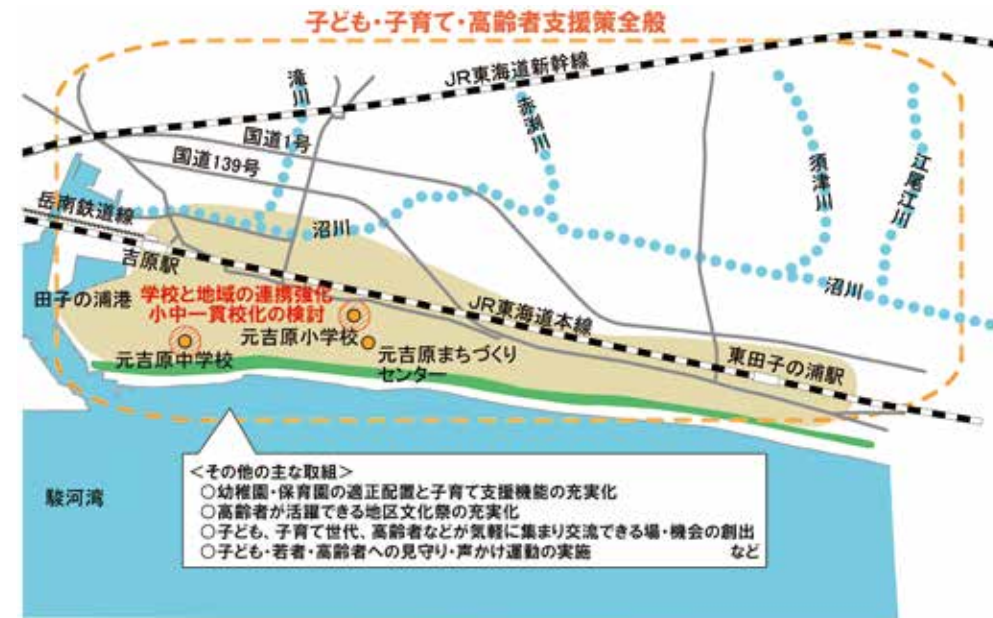


② 復興まちづくりの体制づくり

復興まちづくりの組織づくりや、各家庭で災害時の連絡先や想定される避難先について確認します。

2 少子高齢化への対応

少子高齢化に対応した
“子どもやお年寄りが安心して住み続けられるまち”をつくる



(1) 子育てしやすいまちづくり

子どもを安全・安心に育てられる保育・教育環境の充実や、子育て世代が気軽に集まることのできる場・機会を創出するとともに、住民が積極的に子育てに関わる取組を進めます。

① 子どもの保育・教育環境の充実

保育園や幼稚園における子育て支援機能の充実化や学校と地域の連携強化を図るとともに、子どもや子育て世代が気軽に集まり、コミュニケーションを図れるような場・機会づくりを進めます。



② 地区の“子育て力”の向上

住民による子どもの見守り・声かけ運動を促進するとともに、地域と子どもの絆を深めるふれあい事業を開催します。

(2) 高齢者が暮らしやすいまちづくり

高齢者が安心して、かつ充実した生活を送れるよう、生きがいづくりと“ハレの場”づくりを進めるとともに、住民が積極的に高齢者のサポートに関わる取組を進めます。

① 高齢者の生きがいづくりと“ハレの場”づくり

高齢者の知恵や経験を活かせる地区文化祭など、他世代と交流できる場・機会づくりを進めます。

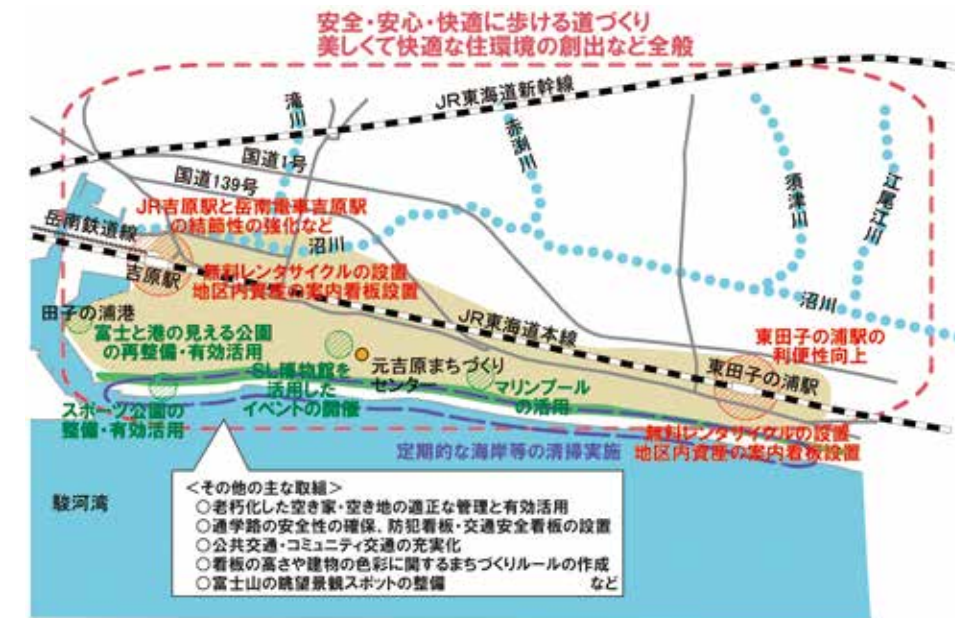


② 高齢者支援環境の充実

住民による高齢者の見守り・声かけ運動を促進します。

3 生活・交流基盤の維持・再生

住む人にも来る人にも便利で快適な
“暮らしやすく訪れやすいまち”をつくる



(1) 安全で快適な生活環境づくり

安全・安心・快適に歩ける生活道路づくりのほか、富士山と調和・共生した景観の形成を図るなど、生活環境の安全性と快適性を高める取組を進めます。

① 安全・安心・快適に歩ける生活道路づくり

狭あい道路の改善や路地の魅力向上を図るほか、交通安全・防犯のための看板設置など、安全・安心・快適に歩ける道づくりを進めます。



② 富士山を活かした、美しく住みやすいまちづくり

富士山への眺望景観に調和するとともに、落書きやごみのない、美しく快適な住環境を創出します。

(2) 元吉原ウェルカム基盤づくり

観光客など来訪者が利用する吉原駅や東田子の浦駅の利便性向上に加え、富士と港の見える公園など、主要施設の整備・活用を進めます。

① 駅周辺の利便性向上と活性化

吉原駅や東田子の浦駅における、鉄道やバスなど公共交通の結節性強化を図るとともに、案内看板の設置など駅周辺の環境整備を進めます。



② 主要施設等の整備・活用

富士と港の見える公園やマリンプールなどの既存施設を有効に活用するとともに、鈴川海岸のスポーツ公園の整備を促進します。

4 自然・歴史の活用

豊かな自然とロマンあふれる歴史を活かした
“個性あふれる魅力的なまち”をつくる



(1) 自然・歴史の拠点づくり

沼川や浮島ヶ原自然公園、また富士塚や各所に点在・集積する歴史的建造物等を後世に伝承するため、拠点性を高める整備や保全のための維持管理を適切に行います。

① 自然資源の拠点づくりと保全

沼川沿いの桜並木一帯を花と水辺の名所として充実するとともに、海岸沿いの松林や潮土手の再生・保全に取り組みます。



② 歴史資源の拠点づくりと保全

富士塚や歴史的建造物等の保全と整備活用を図ります。

(2) 自然・歴史を活かしたまちづくり

地区が誇る豊かな自然資源やロマンあふれる歴史資源について、名所・シンボル、交流の場等として有効に活用するとともに、これらを巡るネットワークづくりを進め、地区の賑わい創出と活性化に役立たせます。

① 自然・歴史資源の有効活用

沼川や浮島ヶ原、毘沙門天などを地区の名所・シンボルとして、また住民や観光客が交流する場として有効に活用します。

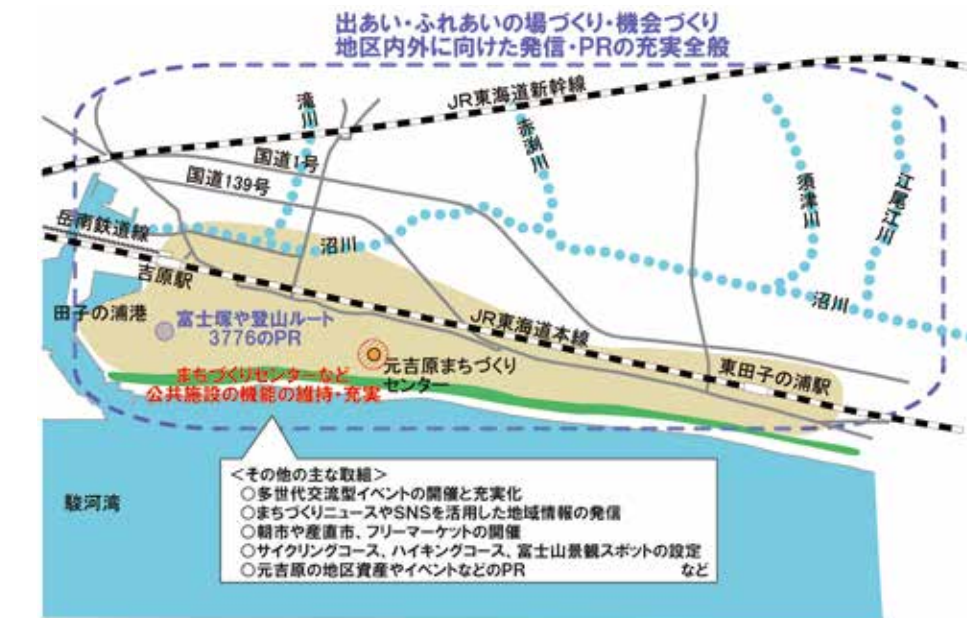


② 自然・歴史資源ネットワークの形成

自然資源や歴史資源を安全に、かつ楽しみながら散策できる魅力的なハイキングコース等を設定するとともに、適切な整備・改善を図ります。

5 地域コミュニティの活性化

地区の特性を活かしたイベントや情報発信等を充実し
“多くの出会いとふれあいのあるまち”をつくる



(1) 住民の“つながり・絆”を「もっと」強める仕掛けづくり

住民の“つながり”や“絆”を「もっと」強めるため、出会い・ふれあいの場と機会を創出するとともに、多様な方法で情報発信を行います。

① 出会い・ふれあいの場づくりと機会づくり

住民のニーズにあった多世代交流型イベントの開催・充実、まちづくりセンターをはじめとする公共施設の機能の維持・充実を図ります。



② 地区内に向けた発信・PRの充実

住民に対し、まちづくりニュースやSNSなどのツールを活用して、まちづくりに関する活動・取組について情報発信します。

(2) 元吉原の魅力を「もっと」知ってもらおう仕掛けづくり

市民や観光客に地区の魅力を「もっと」知ってもらうため、出会い・ふれあいの場と機会を創出するとともに、多様な方法で情報発信を行います。

① 出会い・ふれあいの場づくりと機会づくり

富士塚や富士山登山ルート3776など、地区ならではの資源をPRするほか、地区の魅力を満喫できるサイクリングコース・ハイキングコースを設定します。



② 地区外に向けた発信・PRの充実

市民や観光客に地区の魅力を知ってもらうため、各種イベントやSNSなどのツールを活用して、地区資源のPRや、まちづくりに関する活動・取組について情報発信します。